

早いものでもう師走です。  
自宅の最寄り駅に去年なかったクリスマスツリーがお目見え。  
今年は明るい気持ちで年末年始が迎えられそう  
という方も多いのではないのでしょうか。



## ◆ 第 34 回日本語弁論大会 14 校が参加表明！

全専日協の恒例行事、日本語弁論大会は本来であれば大阪開催の回ではありますが、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、昨年度に引き続き、オンライン開催となりました。14校から参加申込がありました。ありがとうございます。

第 34 回 全国専門学校日本語学習外国人留学生日本語弁論大会 参加校 (50 音順)

岩谷学園テクノビジネス横浜保育専門学校	新宿日本語学校
大阪バイオメディカル専門学校	清風情報工科学院
大阪 YMCA 国際専門学校	専門学校アジア・アフリカ語学院
外語ビジネス専門学校	専門学校湖東カレッジ
神村学園専修学校	福岡外語専門学校
関西外語専門学校	文化外国語専門学校
神戸 YMCA 学院専門学校	横浜デザイン学院

### < 古屋 和雄 大会委員長 (文化外国語専門学校) からのメッセージ >

全国から参加者が集まり、2月4日の開催日が今から待ち遠しいです。  
皆さんの心のこもったスピーチを楽しみにしています。  
本来なら大阪での開催ということから、審査員の先生方は  
大阪にゆかりのある方々を中心に依頼しました。  
充実したオンライン大会になるよう頑張ってお参ります！

弁論大会については、追って詳細をお知らせする機会を作ります。大会終了まで、皆さんよろしくお願ひします。

昨年度の様子→



## ◆ 留学生の入国のための申請・審査の継続を

### 日本語教育関係 6 団体で要望

日本語教育関係 6 団体での活動について、最新の状況をお伝えします。

**11月29日**に「水際対策強化に係る新たな措置（20）」が公表され、受入責任者（専門学校・各種学校）に対して業所管省庁（文部科学省）が申請の受付と申請内容の審査、審査済証の交付を行わないと発表、現在も手続きがストップしていることはご承知の通りです。「水際対策強化に係る新たな措置（19）」でようやく海外から学生が新規入国できると喜んだのも束の間のできごとでした。

日本語教育関係 6 団体ではこの件についてメールで対応を検討し、日本語教育関係 6 団体の事務局から文化庁の 圓入 由美 国語課長 に要望を打診しました。そのうえで「申請の受付と審査の継続」を要望趣旨として、日本語教育関係 6 団体事務局から **12月1日**に下記の 2 名に要望書（資料 1）を提出しました。

- ・文部科学大臣 末松 信介 氏
- ・出入国在留管理庁 長官 佐々木 聖子 氏

**12月2日**には、6 団体の代表者が内閣官房や日本語教育推進議員連盟の議員へも同様の要望内容を伝えるべく議員会館を訪れました。

- ・内閣官房副長官 内閣総理大臣補佐官 木原 誠二 氏
- ・日本語教育推進議員連盟 副幹事長 浮島 とも子 氏
- ・日本語教育推進議員連盟 事務局次長 里見 隆治 氏
- ・日本語教育推進議員連盟 副幹事長 片山 さつき 氏



木原誠二議員

いずれの議員も、熱心に要望の内容に耳を傾け、「申請や審議の継続が実現するよう考えたい」「継続は合理的な考えだ」といった今後に期待が持てる前向きな回答を引き出すことができました。手続きの再開が待たれます。

一方、新型コロナウイルス感染症のオミクロン株については、感染力や重症化率、ワクチンの効果などをしっかり分析するためにはどうしても 1 か月近い時間がかかってしまうとのことで、年内の入国再開は非常に難しいということも伝えられました。

## ◆ 日本語教育関係 6 団体での活動（9 月から 11 月）

前述の最新の状況に至るまでの 3 か月間、全専日協が日本語教育関係 6 団体を通じてどのように活動してきたのか遡ってご報告いたします。

### ●入国制限解除に向けた嘆願書

9 月 7 日に会員の皆様に入国制限解除に向けた嘆願書の提出をお願いいたしました。多くの会員に協力していただき、他団体の教育機関も含めて 662 の機関から嘆願書が集まりました。

### ●加藤官房長官(当時)に要望書提出

9 月 28 日に日本語教育関係 6 団体の代表者が日本語教育推進議員連盟の協力を得て、加藤 勝信 内閣官房長官(当時)に「留学生の入国制限早期緩和と新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止とが両立できる受け入れ体制の確立」を求める要望書を上記の嘆願書と共に提出しました。



そして、菅 義偉 首相(当時)にも要望内容を伝えていただくよう依頼しました。会員の皆様にご協力いただき、多くの嘆願書が集まったおかげで、このような要望をすることができました。この場を借りて、改めてお礼申し上げます。

上記 2 点についての詳細は日本語教育関係 6 団体の事務局 HP をご覧ください。

<https://jls6dantai.wixsite.com/website/post/youboul>

### ●文化庁国語課 新課長と顔合わせ

10 月 4 日、日本語教育関係 6 団体の代表者が文化庁国語課を訪れ、全専日協からは池田 俊一 副会長と西村 学 事務局長が出席しました。文化庁国語課からは新任の圓入 由美 国語課長をはじめ、堀 敏治 課長補佐、竹下 勝 専門官、増田 麻美子 専門官が出席し、以下について意見交換をしました。

- ・入国制限の解除への動き
- ・公認日本語教師と日本語教育機関の類型化
- ・日本語教育機関に対する支援の可能性

全専日協は、日本語教育の窓口である文化庁国語課と今後もしっかりと情報交換を重ねて参ります。



竹下勝専門官(奥)

圓入由美課長

池田俊一副会長 西村学事務局長(奥)

### ●自民党の選挙公約「Jファイル」に留学生の入国再開が言及される

10月20日、日本語教育関係6団体の事務局に片山 さつき議員 から自民党の選挙公約「Jファイル」に「留学生の入国再開と受け入れ体制の確立」が掲載されたと連絡があり、全専日協の皆様にもお知らせいたしました。日本語教育推進議員連盟の議員に、折に触れて留学生の入国制限緩和を要望してきたことがこのような結果につながりました。

[https://jimin.jp-east-2.storage.api.nifcloud.com/pdf/pamphlet/20211018\\_j-file\\_pamphlet.pdf](https://jimin.jp-east-2.storage.api.nifcloud.com/pdf/pamphlet/20211018_j-file_pamphlet.pdf)

#### 809 留学生の入国再開と受け入れ体制の確立

留学生は、わが国の社会、経済の活性化に不可欠な存在であることから、水際での適切な防疫措置を講じながら早急に留学生の入国再開を実現します。

また、わが国が留学先として選ばれる国となるためにコロナ禍においても感染拡大防止と両立できる受け入れ体制を確立し、内外にそれを周知します。

「Jファイル」P134より抜粋

### ●「水際対策強化に係る新たな措置（19）」の改善を要望

11月18日に日本語教育関係6団体の代表者が文化庁国語課に集まり、圓入由美 国語課長に要望書を提出し、以下の2点を強く要望しました。(資料2)

- ・令和3年(2021年)4月以降に交付された在留資格認定証明書を持つ学生の早期入国
- ・検査体制のある空港の増設

「水際対策強化に係る新たな措置（19）」では、令和3年(2021年)10月期生の入国のための審査がいつから開始されるか明示されていません。一方、

全専日協の会員の皆様にもご協力いただいたアンケート調査の結果、在留資格認定証明書を取得し現在も入国を待っている学生は在留資格認定証明書の交付数の4割程度であることがわかりました。多くの学生が日本留学をキャンセルしていることがその要因だと考えられます。このように日本留学を希望する学生が減ってしまっていることを根拠に、令和3年（2021年）10月期生についても、入国に向けた申請を早期開始するよう要望しました。また、那覇、仙台などの国際空港も留学生が入国する際に利用できるよう要望いたしました。圓入課長を通しての提出も入れて、以下の4名に要望書を提出しました。

- ・文部科学大臣 末松 信介 氏
- ・文部科学省 総合教育政策局長 藤原 章夫 氏
- ・文化庁 次長 杉浦 久弘 氏
- ・文化庁 国語課長 圓入 由美 氏



圓入由美国語課長

**11月26日**に出入国在留管理庁にて、日本語教育関係6団体の代表者が留学審査係長 山中 哲哉 氏 に文化庁に提出したものと同様の内容で 佐々木 聖子 長官あての要望書を手渡しました。

- ・出入国在留管理庁 長官 佐々木 聖子 氏

どちらにも、西村 学 事務局長 が同席しました。文化庁の圓入課長、出入国在留管理庁の山中係長は、共に「要望内容は聞きました」としたものの「水際対策強化に係る新たな措置（19）」の改善についての言及は残念ながらありませんでした。

以上、9月から11月の活動を振り返ってお伝えしました。

この後、「水際対策強化に係る新たな措置（20）」が11月29日発表され、現在に至っていますが、このような活動の積み重ねが今後の入国制限の早期解除、よりよい水際措置につながることを願うばかりです。



2021年12月9日  
全国専門学校日本語教育協会  
ニュースレター担当